

性暴力の本質について

長崎県立大学 教授

助産師・日本版性暴力対応看護師 (Sexual Assault Nurse Examine-Japan : SANE-J)

日本フォレンジック看護学会 (Japan Association of Forensic Nursing) 理事

李 節子

「性暴力」とは：性に基づく暴力

「性暴力」とは、本人の望まないすべての性的な意味合いを持った行為で、加害者からの一方的かつ強制的な行為である。

性暴力について

- 性暴力は、ひとりひとりが持つ性的権利・性的尊厳を著しく侵害する。
- しかし、「性」に関する事象であるがゆえに、その暴力は社会問題化しにくい。
- 被害を受けた者に対する誤解や偏見が生まれやすい。
- いつの間にか性暴力が社会に蔓延する。

「性暴力」とは：性に基づく暴力

望まない**性的な情報（画像や書籍）**を見せたり、あるいは一方的に裸や性器を露出して見せることも、**視覚的な性暴力**である。

いずれも、加害者からの一方的かつ強制的な行為である。

性暴力と一般の暴力との違い

- 性暴力は、偏見により**軽視・見過ごされる**。
- 加害者が犯罪者であるにもかかわらず、**被害者が「悪者・犯罪者」**とされやすい。
- 伝統的・文化的・宗教的・慣例的・社会構造的な社会問題・戦争などにより、性暴力が**正当化される**。

'see no evil, hear no evil, speak no evil.'

「見ざる、聞かざる、言わざる」

→ 行わざる

性暴力蔓延社会

性犯罪社会



性暴力・性犯罪

- あたりまえで、気付かない。
- 見ても、見えない。
- 何とも思わない。

そこにある性暴力が正当化される

戦時

性暴力

人身取引・
性奴隷

レイプ・性的虐待

強制わいせつ

セクシャル・ハラスメント 痴漢

視覚的な性暴力

望まない性的な情報(画像・書籍)

さまざまな「性暴力」の種類

性被害：重大な人権侵害

被害にあった女性はそのとき
他人の完全な支配下におかれ、
身体だけでなく、
心をもった人間としての
尊厳を踏みにじられ、抑圧されます。
これは重大な人権侵害なのです。

佐々木静子：NPO女性の健康と安全のための支援教育センター編

SANE 性暴力被害者支援看護職養成講座テキスト、2006より

性的人格権 (セクシャルライツ) : 性的尊厳・人権

セクシャルライツ【sexual rights】

＜大辞林 第三版の解説より＞

性に関する権利。自分の身体を侵害されない権利，性行動を選択する権利，性に関する健康を享受する権利などをいう。



The World Health Organization (WHO)

Sexual violence is a serious **public health** and **human rights problem** with both short- and long-term consequences on women's physical, mental, and sexual and reproductive health.

性暴力は深刻な
社会全体の健康問題であり、
人権問題である。



性の権利宣言 (WAS 2014)

➤ 平等・差別されない権利

(The right to equality and non-discrimination)

➤ 生命・自由・および安全を守る権利

(The right to life, liberty, and security of the person)

➤ あらゆる暴力や強制・強要から自由である権利

(The right to be free all forms of violence and coercion)

➤ プライバシーの権利 (The right of privacy)

➤ 情報を得る権利 (The right of information)

➤ 教育を受ける権利、包括的な性教育を受ける権利

(The right to education and the right to comprehensive sexuality education)

2014年WASの「性の権利宣言」16項目より抜粋

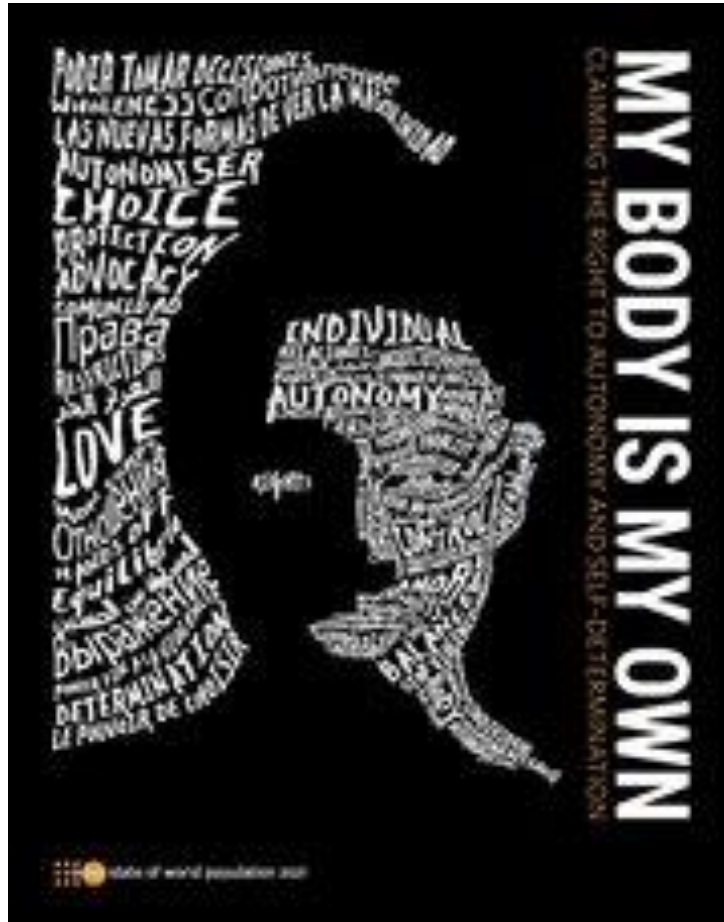
<http://www.worldsexology.org>

2018年5月29日アクセス

現行法の運用の実情と課題（総論的事項）

- 性犯罪は、心身の境界線の侵害であり、
- 「**身体の統合性**」を破壊する行為であって、
- 相手を対等な存在と認めないことにより、
- その「尊厳」を踏みにじる行為

世界人口白書2021



“私のからだは私のもの：
からだの自己決定権を求めて
(My body is my own -
claiming the right to
autonomy and self-
determination)”

「デートDV」概念

親密な恋人間において、
甚だしい感情表現と
異常な行動を伴い、
心身を傷つけ、
人権を制限・剥奪する行為

(村井亜里沙他:デートDVの概念分析、母性衛生57巻2号、2016)

「デートDV」(造語): Domestic Violence (配偶者間の暴力 同居する交際相手)
Dating Violence(恋人間の暴力)

性暴力被害の複合リスク(危険性)

性暴力被害の複合リスク(危険性)

- 言葉が不自由
- 身動きできない
- 無防備な状態
- 安全でない危険な社会環境
- 経済的に困窮している
- 訴えることによって、大きな不利益を生じる
- 社会資源・支援制度の存在を知らない
- 社会的な攻撃の対象として、暴力が容認されているグループに属する

性暴力被害の複合リスク(危険性)



**性暴力(人権侵害)を受けても、その事を訴え、
社会に支援を求めることが困難な状態**



すべての人に危険性が存在する

HOW OFFENDERS VIBTIMIZE: 犯罪者はどう標的を定めるのか

ACCESSIBILITY: 近づきやすさ(知っている)

VULNERABILITY: 弱さ(弱みにつけこむ)

CREDIBILITY: 信頼性(信じてもらえない)

パッティ・パワーズ (Patti Powers<JD>
(米国キャリア検察官・法廷弁護士)
性暴力対応(SART)チーム研修会にて
2015年2月13日 於: 日本

リプロダクティブ・ヘルスのアプローチ

国際人口開発会議（ICPD/カイロ会議1994年）において、
リプロダクティブ・ヘルスの権利は**人権**の一環として承認された。

すべての新生児が
健康な妊娠期間を過ごした
母親から生まれる。

すべての乳児が
適切な食事を与えられ、
予防接種を受ける。

すべての若い女性が
HIV感染から身を守る
ことができる。

すべての女性が
妊娠の間隔を
あけることができる。

すべての人が
正しい情報を得て、
責任ある行動をとることに
よって健康リスクを回避できる。

すべての人が
自分の人生の重要な
決定について選択肢を持ち、
自ら決めることができる。

リプロダクティブ・ヘルス・サービス

妊婦のケア、分娩時・産後のケア、緊急産科治療、
新生児・乳児ケア、母乳育児、補助食、予防接種、
適切な避妊、家族計画、性感染症の予防・治療
カウンセリング、思春期の性教育、家庭生活教育
自己決定・責任ある行動をうながす教育、
リプロダクティブ・ヘルス・サービスに関する情報提供、
ジェンダーに基づく暴力の防止、社会環境の整備

母子保健サービス



リプロダクティブ・ライツ(人権)の要素

資料:世界人口白書より作成

リプロダクティブ・ライツの要素

人権に基づく活動

生命と生存の権利

妊産婦・乳児死亡を防ぐ、HIVを含む性感染症の防止するための情報・手段がある、女児の育児放棄と差別をなくす

身体的自由および安全の権利

ジェンダーに基づくあらゆる形態の暴力の防止、人身売買の阻止、強制・暴力・差別を受けることなく妊娠・出産に関する決定をする、女性性器切除の廃止

情報を求め、受け取り、伝える権利

リプロダクティブ・ヘルス/ライツ問題に関する情報等を利用できる

出産する子どもの数、時期、間隔を決める権利

家族計画の方法を選択し、適切に利用できる、思春期の少女が妊娠の時期を遅らせることができる

自由意思で結婚し家族を形成する権利

児童婚、強制的結婚の防止と法規制、リプロダクティブ・ヘルス・カウンセリング・サービスの提供

到達可能な最高水準の健康を得る権利

リプロダクティブ・ヘルスに関する教育とサービスの提供、最も困難な状況にある人々を優先

科学的進歩の恩恵を享受する権利

女性が利用できる安全、良質な避妊法を提示・開発、緊急産科ケアが利用可能

差別を受けず、教育と雇用における平等を享受できる権利

母親であることを理由とする雇用上の差別を禁止、妊娠および結婚した思春期の女性が教育課程を修了できる

声明文

ナタリア・カネム 国連人口基金 (UNFPA) 事務局長

世界人口白書2022 “見過ごされてきた危機「意図しない妊娠」”

2020年3月30日

COVID-19の世界的流行によるロックダウンでは、セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス・サービスや避妊具・薬へのアクセスが妨げられ、意図しない妊娠の増加につながったとき、私たちはこの問題を目の当たりにしました。また、人道危機下において、女性や少女が性的暴力のリスクの増加に直面していることも目の当たりにしています。そして女性や少女のからだが自分自身のものであるとみなされていないことも、社会全体に影響を及ぼしています。意図しない妊娠は、影響を受ける女性にとっては個人的な問題だけではなく、家族、社会にとっては健康の問題、そして国や国際社会にとっては人権の問題なのです。

暴力の特性について

暴力のサイクル: そのとき、、、。



暴力爆発期

◎恐怖・苦しみ・無力感・従順

◎外傷・痛み

◎生活への支障・破綻

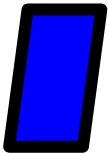


解放期

◎パートナー(加害者)が変わるのではないか

◎この人には私しかいない、誰よりも愛されている

◎暴力さえなければ、とてもいい人



緊張形成期

◎暴力がおきる不安と緊張

◎爆発を起こさせないようにオドオドする

◎私が悪いから暴力をうけるのか

恐怖と孤立

暴力のサイクル・悪循環

自尊心・
自己効力感
の低下

完全な支配下

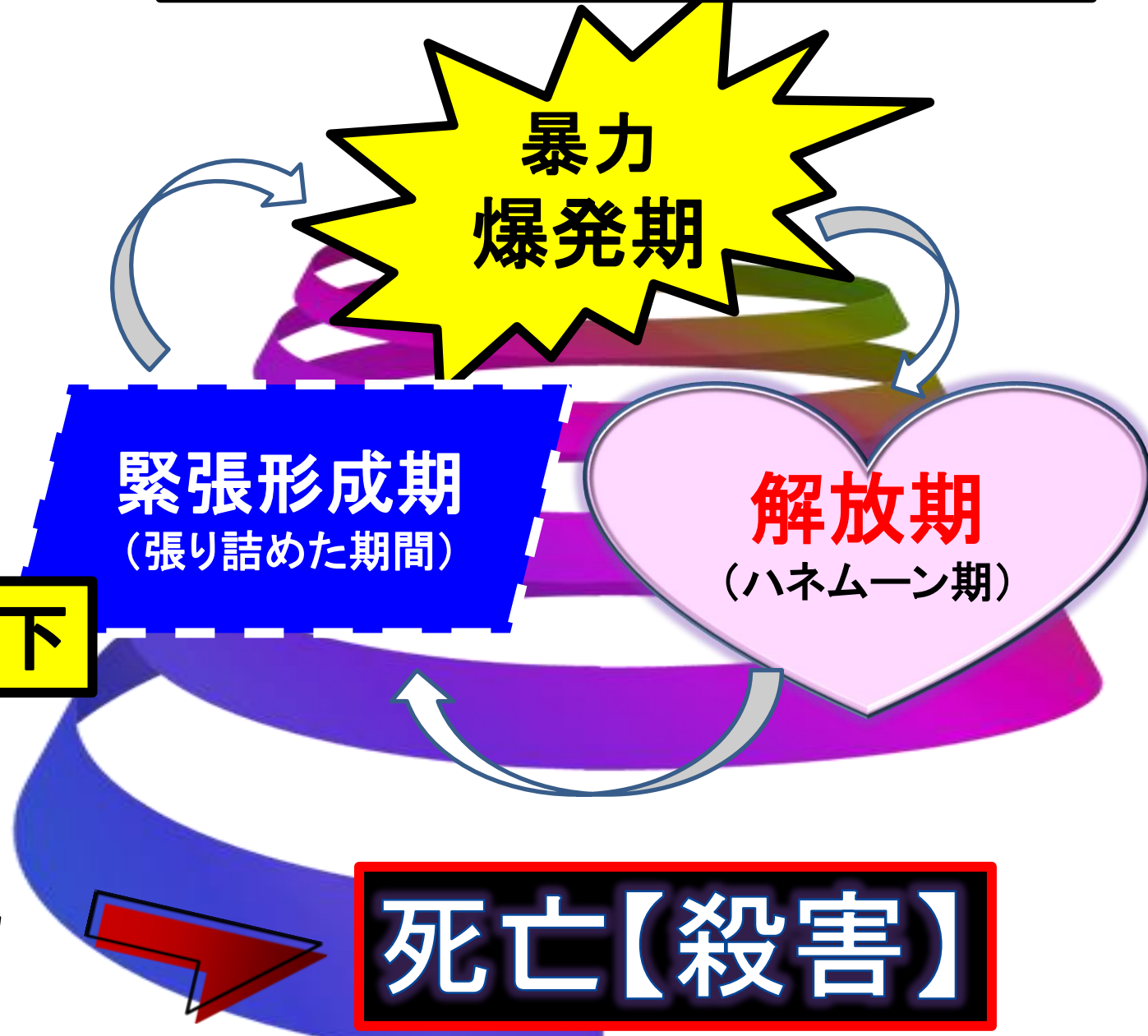
増悪化

暴力
爆発期

緊張形成期
(張り詰めた期間)

解放期
(ハネムーン期)

死亡【殺害】



暴力が惨くなるとき

密室性

誰も知らない



誰も止められない

罪に問われない

支配が増大

残虐性が増す



暴力に杭をうつために

「暴力」を明るみに



暴力は犯罪である

暴力を罰する

弱者への暴力を助長する
価値感・文化・社会を認めない

<性暴力被害の実際>



配偶者からの暴力の被害経験

**女性の約4人に1人、
約10に1人は何度も受けている**

**“身体的暴行”“心理的攻撃”“経済的圧迫”“性的強要”
それぞれの行為について、配偶者から被害を受けたことがあるか**

男女間における暴力に関する調査報告書：内閣府男女共同参画局 令和3年3月より

調査対象：全国20歳以上の男女 標本数：5,000人 抽出法：無作為抽出 調査時期：令和2年(2020年)11月～12月

郵送留置訪問回収法 有効回収数：3,438人(68.8%) 女性1,803人 男性1,562人

命の危険を感じた経験

配偶者からの被害を受けた女性の、
約5人に1人は命の危険を感じた。

男女間における暴力に関する調査報告書：内閣府男女共同参画局 令和3年3月より

調査対象：全国20歳以上の男女 標本数：5,000人 抽出法：無作為抽出 調査時期：令和2年(2020年)11月～12月

郵送留置訪問回収法 有効回収数：3,438人(68.8%) 女性1,803人 男性1,562人

交際相手からの暴力被害経験

- 女性の約6人に1人は交際相手から被害を受けたことがある。
- 被害を受けた女性の4人に1人は命の危険を感じた。

男女間における暴力に関する調査報告書:内閣府男女共同参画局 令和3年3月より

調査対象:全国20歳以上の男女 標本数:5,000人 抽出法:無作為抽出 調査時期:令和2年(2020年)11月~12月

郵送留置訪問回収法 有効回収数:3,438人(68.8%)女性1,803人 男性1,562人

特定の相手からの執拗な つきまとい等の被害経験

女性の約9人に1人が、被害を受けた。
被害を受けた4人に1人は命の危険を感じた経験がある。

男女間における暴力に関する調査報告書：内閣府男女共同参画局 令和3年3月より

調査対象：全国20歳以上の男女 標本数：5,000人 抽出法：無作為抽出 調査時期：令和2年（2020年）11月～12月

郵送留置訪問回収法 有効回収数：3,438人（68.8%）女性1,803人 男性1,562人

無理やりに性暴力(性交等)された経験

**女性の約14人に1人は無理やり
性交等をされた経験がある。**

あなたはこれまでに、相手の性別を問わず、無理やり(暴力や脅迫を用いられたものに限られません)に性交等(性交、肛門性交又は口腔性交)をされたことがありますか。

男女間における暴力に関する調査報告書:内閣府男女共同参画局 令和3年3月より

調査対象:全国20歳以上の男女 標本数:5,000人 抽出法:無作為抽出 調査時期:令和2年(2020年)11月~12月

郵送留置訪問回収法 有効回収数:3,438人(68.8%)女性1,803人 男性1,562人

性暴力(性交等)加害者との関係・面識

<女性>

**9割は加害者と面識あり
まったく知らない人は1割**

男女間における暴力に関する調査報告書:内閣府男女共同参画局 令和3年3月より

調査対象:全国20歳以上の男女 標本数:5,000人 抽出法:無作為抽出 調査時期:令和2年(2020年)11月~12月

郵送留置訪問回収法 有効回収数:3,438人(68.8%)女性1,803人 男性1,562人

性暴力(性交等)加害者との関係・面識

配偶者(事実婚含む)・元配偶者

職場・アルバイト先関係者

職場・アルバイト先の客

親

上記以外の親戚

地域活動や習い事の関係者

その他

交際相手・元交際相手

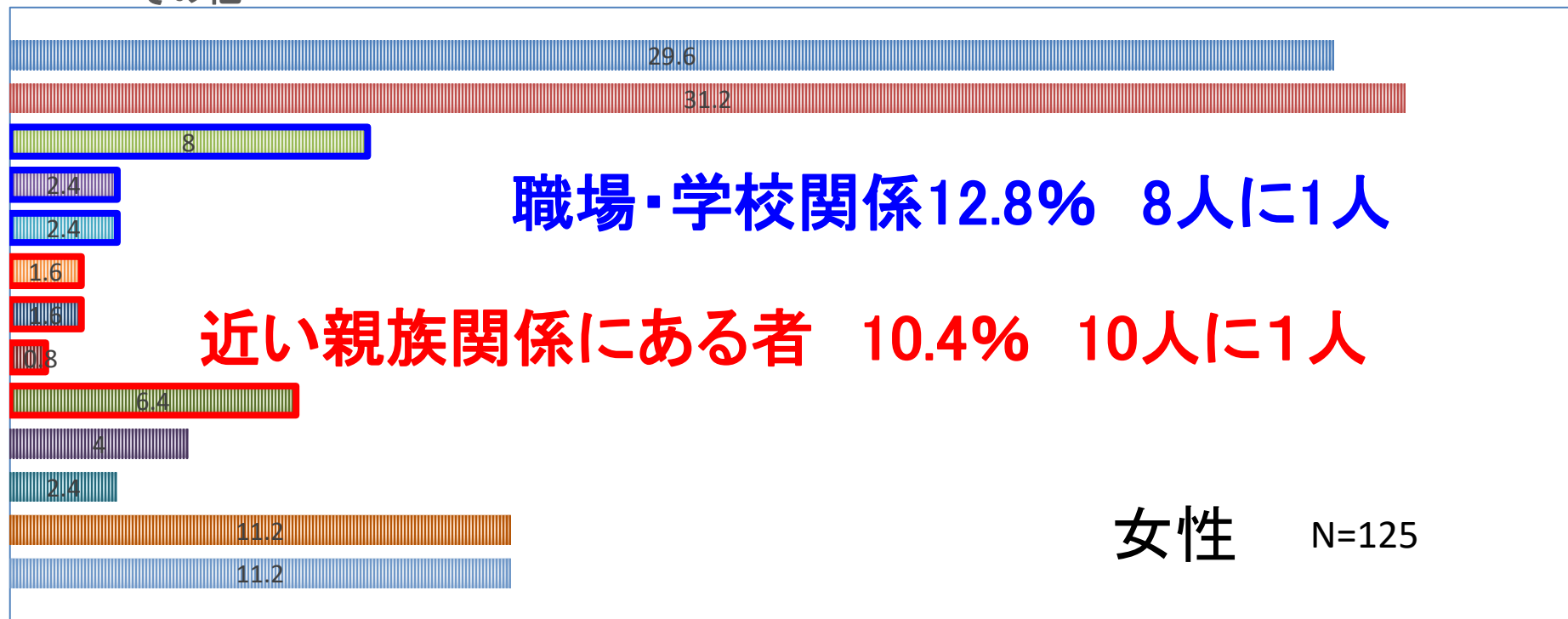
通っていた(いる)学校・大学関係者

兄弟姉妹(義理兄弟姉妹含む)

養親・継親又は親の交際相手

SNS・インターネットで知り合った人

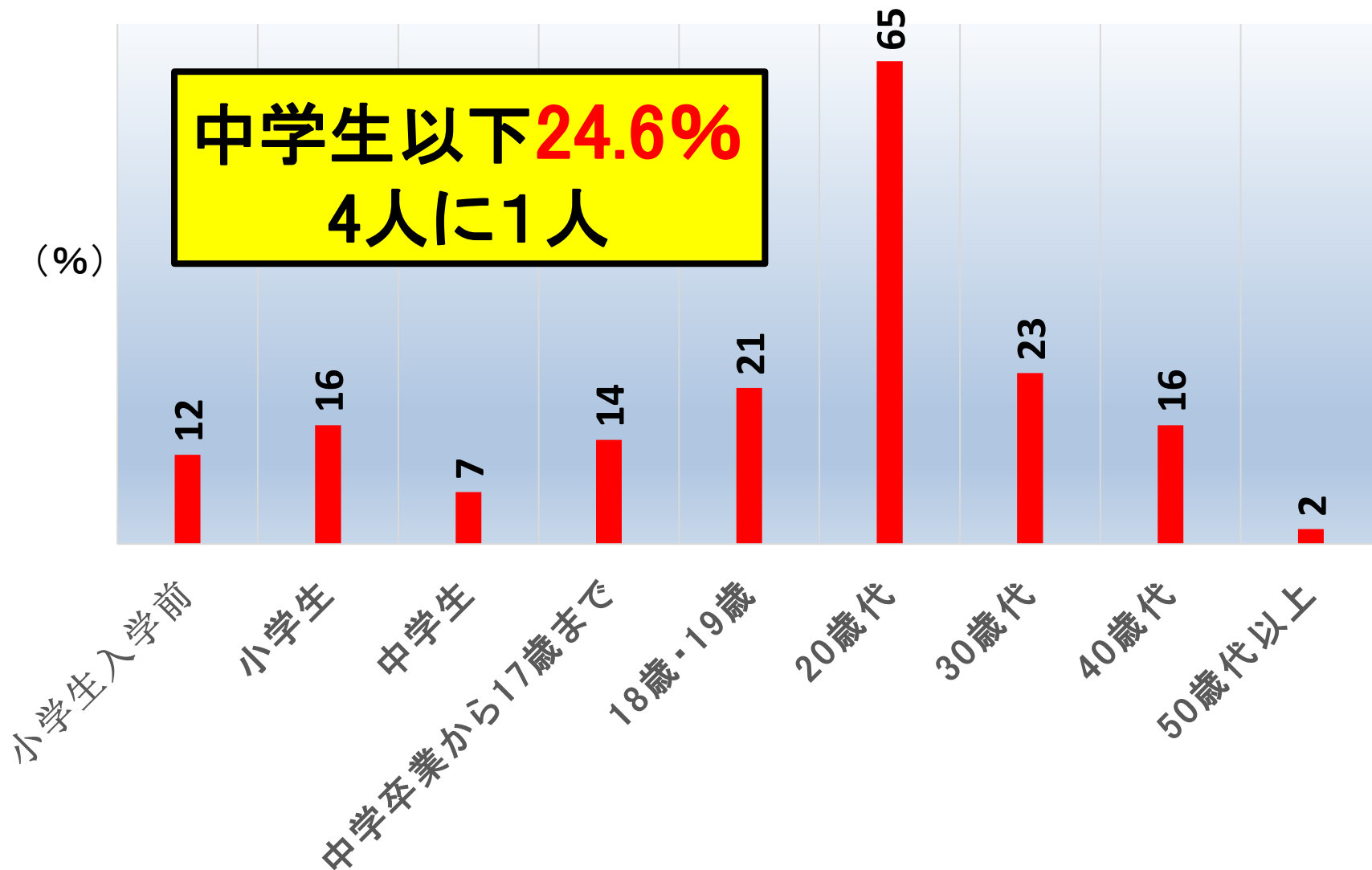
全く知らない人



男女間における暴力に関する調査報告書:内閣府男女共同参画局 令和3年3月より

調査対象:全国20歳以上の男女 標本数:5,000人 抽出法:無作為抽出 調査時期:令和2年(2020年)11月~12月
郵送留置訪問回収法 有効回収数:3,438人(68.8%)女性1,803人 男性1,562人

無理やりに性交等被害にあった時期(年齢)



男女間における暴力に関する調査報告書:内閣府男女共同参画局 令和3年3月より
調査対象:全国20歳以上の男女 標本数:5,000人 抽出法:無作為抽出 調査時期:令和2年(2020年)11月~12月
郵送留置訪問回収法 有効回収数:3,438人(68.8%)女性1,803人 男性1,562人

n=142人(女性125人、男性17人)
複数回答

無理やりに性交等された 被害の相談経験

女性の約6割は、
どこにも相談していない

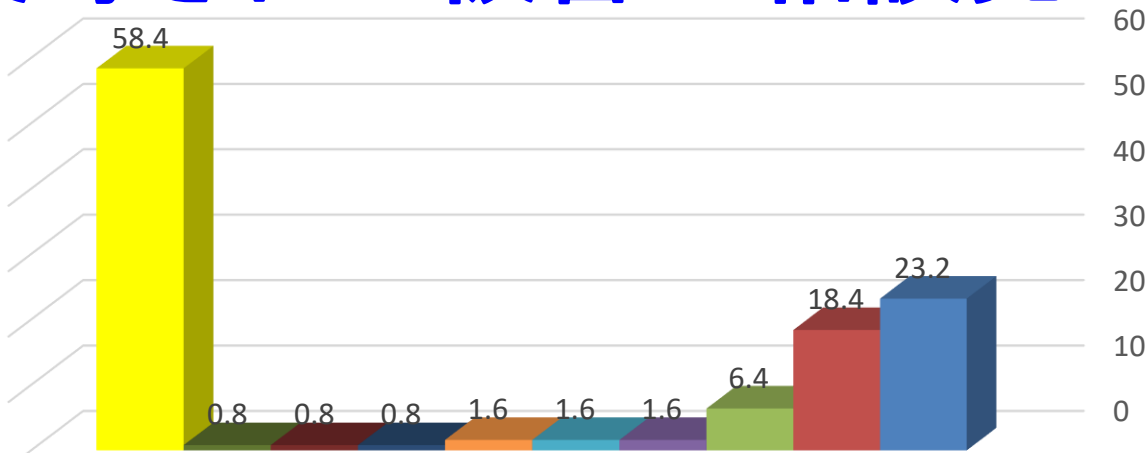
男女間における暴力に関する調査報告書:内閣府男女共同参画局 令和3年3月より
調査対象:全国20歳以上の男女 標本数:5,000人 抽出法:無作為抽出 調査時期:令和2年(2020年)11月~12月
郵送留置訪問回収法 有効回収数:3,438人(68.8%)女性1,803人 男性1,562人

無理やり性交等された被害の相談先

女性 N=125

男女間における暴力に関する調査報告書:内閣府男女共同参画局 令和3年3月より
調査対象:全国20歳以上の男女 標本数:5,000人 抽出法:無作為抽出 調査時期:令和2年(2020年)11月~12月
郵送留置訪問回収法 有効回収数:3,438人(68.8%)女性1,803人 男性1,582人

単位(%)



相談先(複数回答)

■ 友人・知人
■ 家族・親族
■ 警察
■ 職場・アルバイトの関係者
■ 配偶者暴力相談支援センター
■ 民間の専門機関(弁護士・カウンセラー・シェルター等)
■ 医療関係者(医師・看護師等)
■ 性犯罪・性暴力被害者支援専門相談(ワンストップ)
■ 学校関係者
■ どこにも相談しない

23.2

18.4

6.4

1.6

1.6

1.6

0.8

0.8

0.8

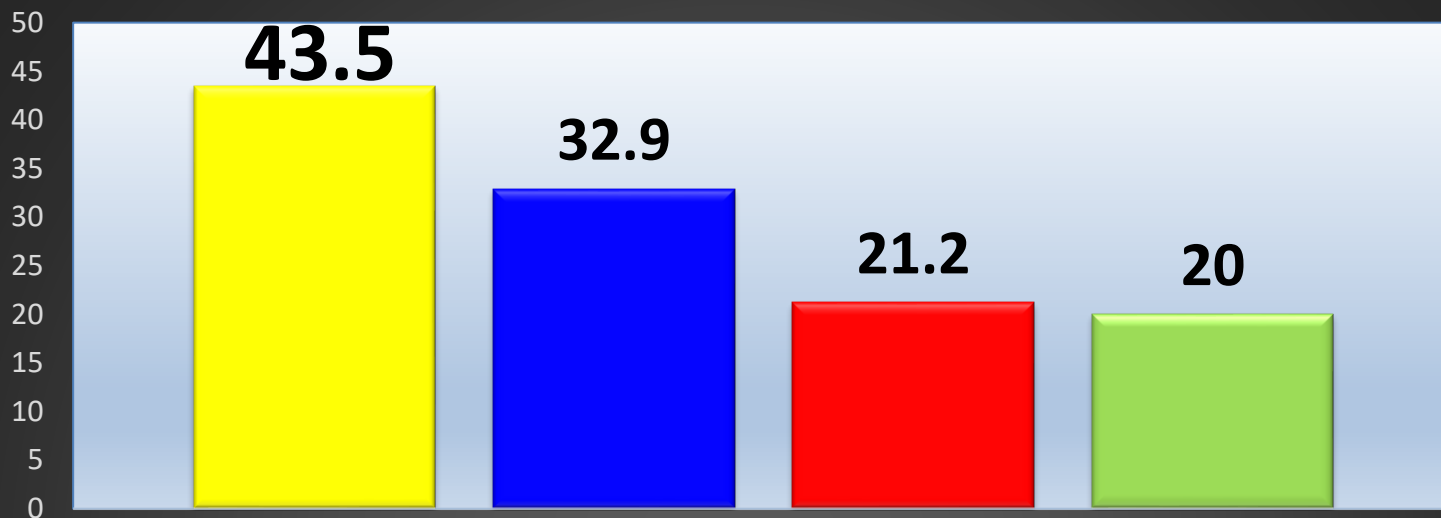
58.4

4割が身近な友人知人家族親族に相談

専門家への相談は
ごくわずか

6割がどこにも
相談していない

無理やり性交等被害の相談しなかった理由



■ 恥ずかしくて誰にも言えなかったから

■ 自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから

■ そのことについて思い出したくなかったから

■ 相談してもむだだと思ったから

(%)
複数回答
N=85人
20%以上

<新たな性暴力蔓延社会>



「サイバー空間性暴力」 (sexual violence in cyberspace)

- サイバー空間 (cyberspace) とは、コンピューターネットワーク上の情報空間、多数の利用者が自由に情報を得たりすることが出来る仮想的な空間をいう、
- サイバー空間で繰り広げられるあらゆる性暴力事象の情報のやりとりを「サイバー空間性暴力 (sexual violence in cyberspace)」と名付ける。

(2014年7月16日 李節子)

「サイバー空間性暴力」とは、サイバー空間で繰り広げられるあらゆる性暴力事象の情報のやりとりである。リベンジポルノ、ネット上の性的搾取、性的画像を撮影することによる強制・脅迫行為、自画撮り被害、サイバー空間上でやり取りされているポルノの作成過程における性的虐待行為、性的暴行等、あらゆるものを含んだ概念である。

(李 節子)

新たなサイバー空間性暴力の出現

犯罪者の匿名性

性暴力の様子
性的な映像 写真



世界中に流出
取り返せない

新たな性暴力
脅迫・支配の手段

生涯にわたる露出の恐怖、人間不信、夢・希望・自由を破壊



性暴力映像

ポルノ映像を買わせるためにまず、
無料で、動画、予告編

それ以上は有料、「18歳以上」と
「同意」(クリック)すれば見放題

性の対象が、アニメのキャラクター

アニメポルノ、アニメエロゲ
(アニメのエロゲーム)の増殖

インターネットの「ポルノ広告」

ブログ(日記)を見ると、広告の
ポルノサイトにリンク

スマートフォンの出現(2007年～)

いつの間にか、巧妙に、直接、アダルト・性虐待映像のサイト(ホームページ)に行ってしまう。

「敷居が低く」、安易に、誰でも、どこでも、知れずに。

アダルトは「借りる・レンタル」から、「デジタル・サイバー空間で購入する」、ネット支払時代へ。

性虐待映像が、驚くほど、発生、伝染、蔓延、保持。スマートフォンで見れば、見るほど、気持ち悪くなるドンドン、暴力的に性虐待映像が出てくる。

サイバー空間性暴力社会問題

大企業としての社会的・道義的責任

犯罪である「性虐待」映像を金儲手段に

性犯罪との認識の低さ、鈍感さ、無知さ

これを「見て見ぬふり」状態の公的空間

インターネット上では、JS・JC・JKと題して子どもを「極端」に性的に描いた漫画・映像が氾濫している

「JS」: 女子小学生

A large, light blue 3D arrow pointing downwards, indicating a flow from the first category to the second.

「JC」: 女子中学生

A large, light blue 3D arrow pointing downwards, indicating a flow from the second category to the third.

「JK」: 女子高生

「極端な」児童ポルノ漫画は禁止を、 国連報告者が日本に呼び掛け

国連（UN）の「子どもの売買、児童売春、児童ポルノ」に関する特別報告者、マオド・ド・ブーアブキッキオ（Maud de Boer-Buquicchio）氏は26日、日本に対し、**子どもを「極端」に性的に描いた漫画**を禁止するよう呼び掛けた。

（中略）

ブーアブキッキオ氏は、「こうしたものはすべて、明らかにもうかる商売となっている。**懸念されるのは、社会的に容認したり、寛容だったたりする風潮があることだ**」と述べた。



マオド・ド・ブーア＝ブキッキオ
国連 児童の性的搾取に
関する特別報告者

（2015年10月26日 20:34 発信地：東京）

<http://www.afpbb.com/articles/-/3064264> より抜粋 2015年12月12日アクセス

インターネットに関連する被害の現状

インターネット上には、性、暴力、自殺、薬物、ギャンブルなど、子どもに見せることが好ましくない情報も氾濫しています。

また、コミュニティサイト等では、性的な目的で子どもを狙う大人もいるなど様々な危険が潜んでおり、実際に、強姦などの凶悪犯罪や、児童ポルノ事犯などの被害にあう子どもが後を絶ちません。

(被害事例)

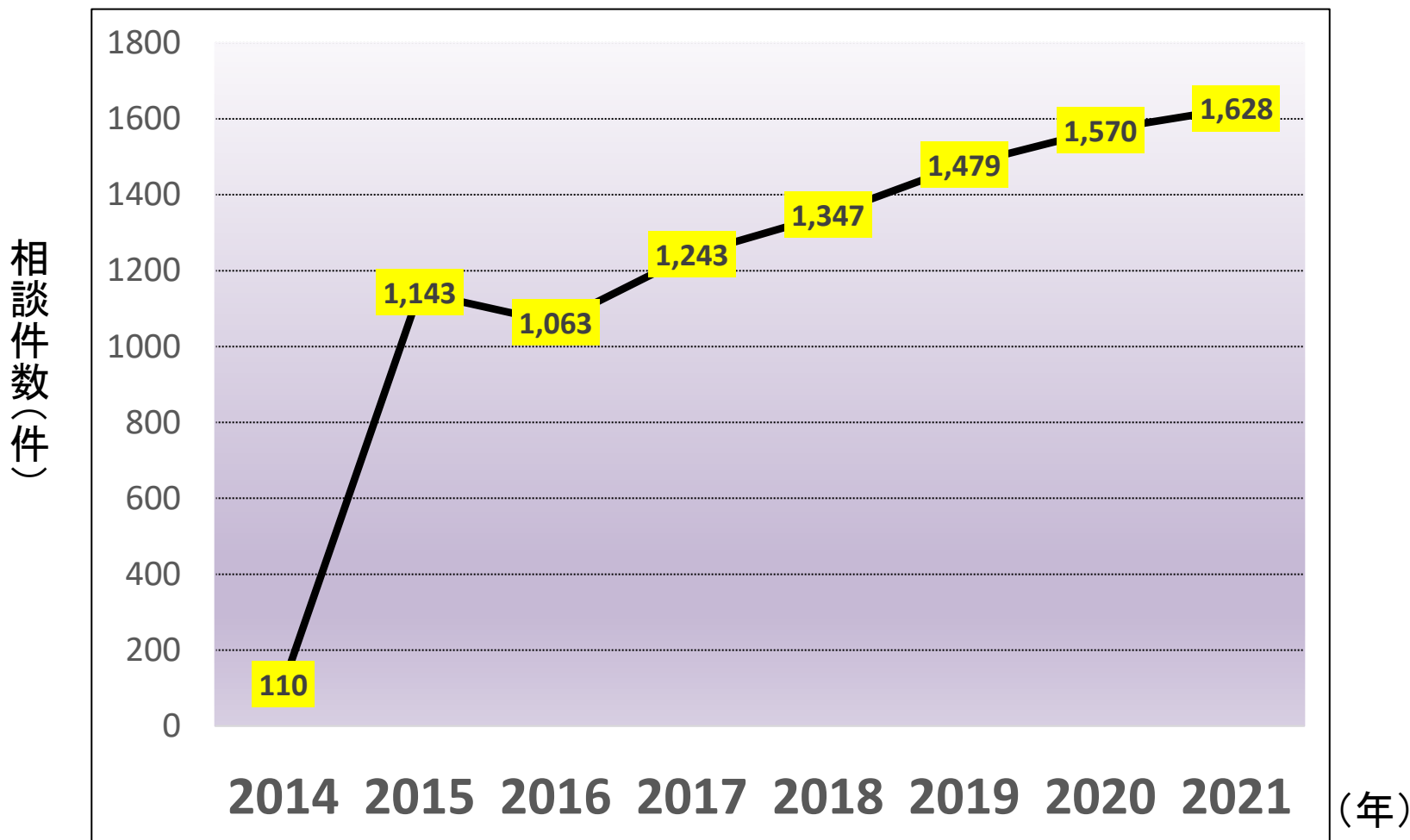
○スマートフォンの出会い系アプリで知り合った女子中学生に、アルバイト代を支払うなどと勧誘しホテルでわいせつな行為をして、ビデオカメラなどで撮影したうえ、動画を記録したDVDを販売したり、動画の一部をネットで公開した事件

○コミュニティサイトで少女になりすまし、自分の裸と偽って他の女性の裸の写真をメールで送信して安心させた上、子どもに自分の裸の写真をメールで送信させ、ネットで公開した事件

⑧ 性的姿態の撮影行為に対する処罰規定の在り方

同意のない性的行為の状況を知らない間に撮影され、
その画像を用いて脅迫されて更なる性的行為を強要される被害や、複数の同級生に囲まれて撮影されながらレイプされる被害があるなど、
多くの性被害が撮影とセットになっており、
被害者にとっては画像を他人に持たれること自体が恐怖である

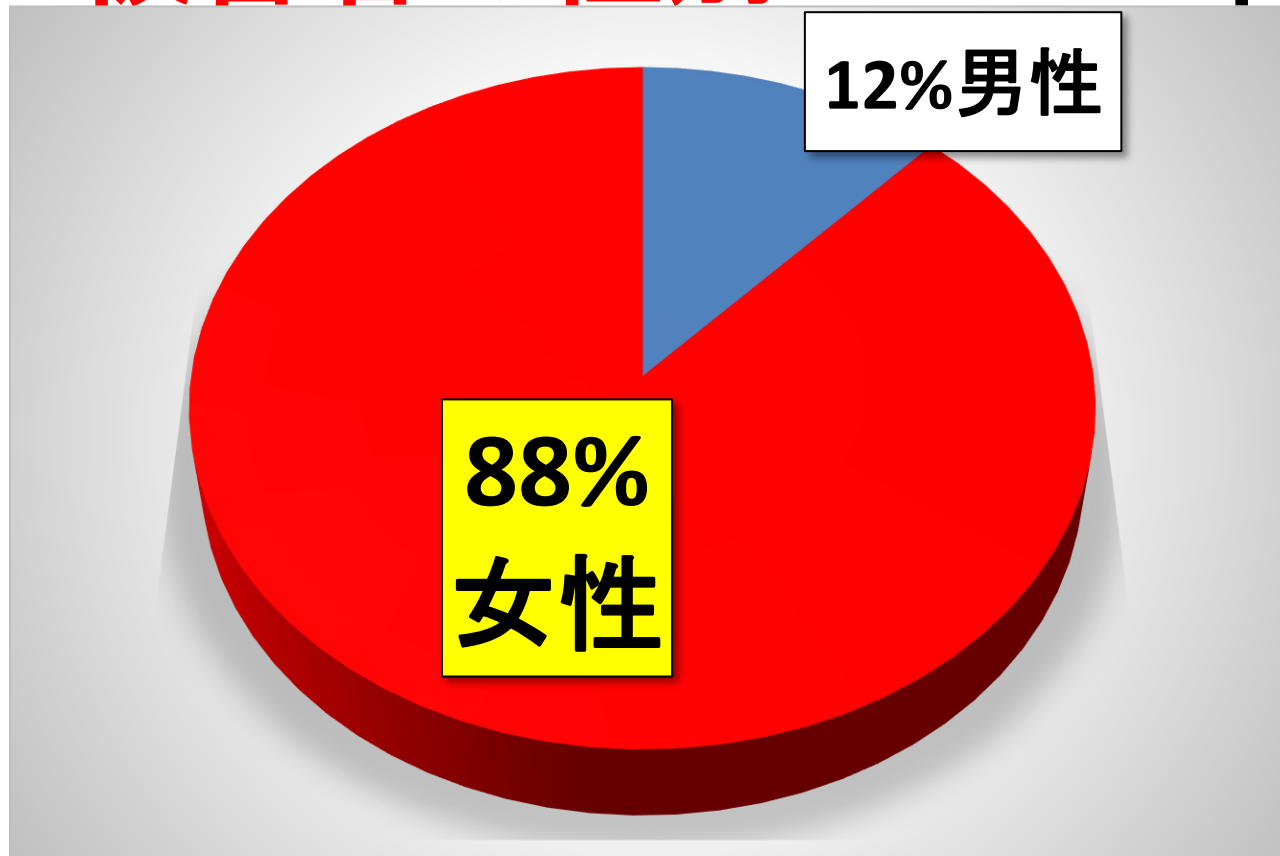
私事性的画像に係る相談件数の推移



* 2014年は、私事性的画像被害防止法の
施行日(11月27日)以降の件数

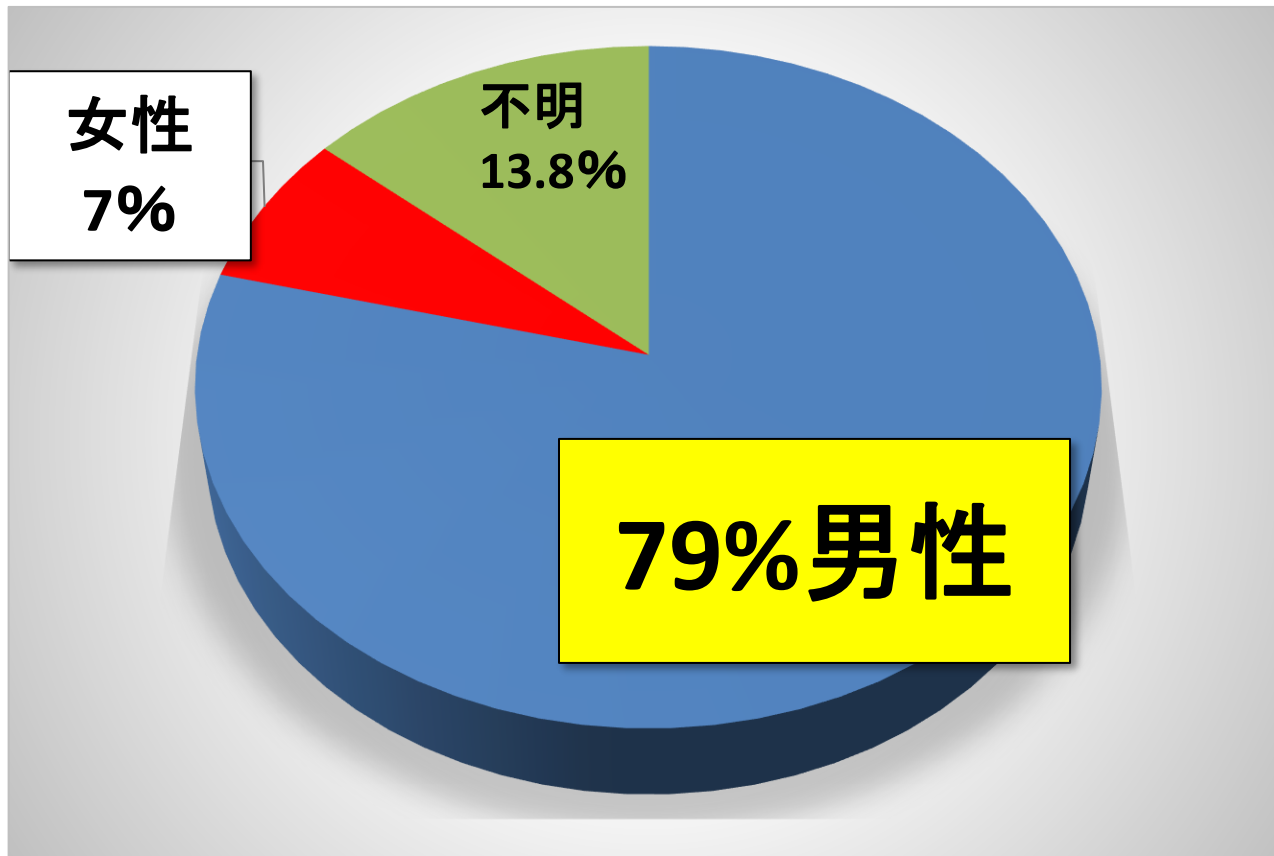
令和4年3月3日 生活安全局生活安全課刑事局捜査第一課発表
令和3年におけるストーカー事案及び配偶者からの暴力事案等への対応状況について より作成

私事性的画像に係る事案： 被害者の性別 2021年



注) 性別不明(メールの匿名相談)が1件ある。 N=1,628

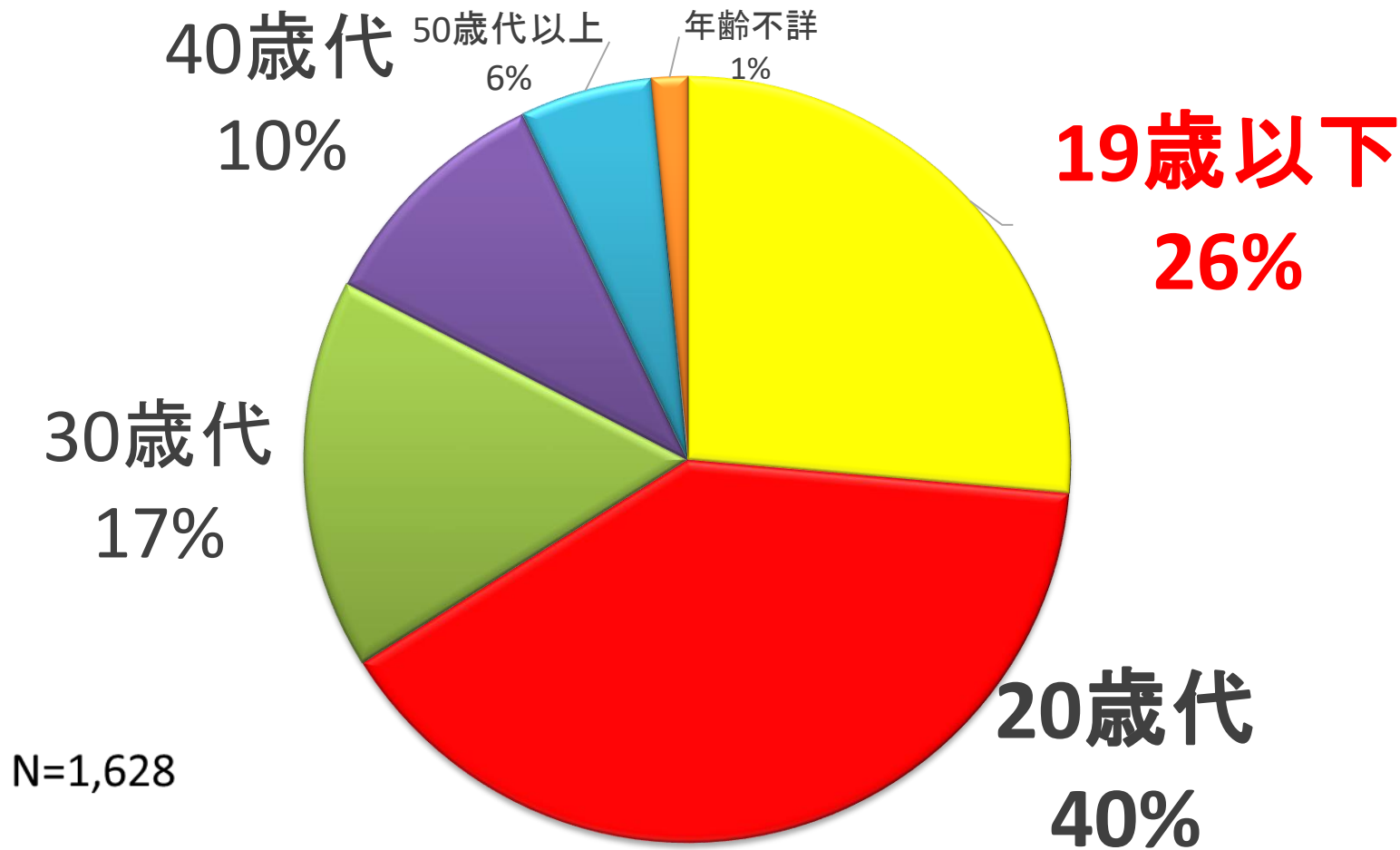
私事性的画像に係る事案： 加害者の性別 2021年



N=1,628

令和4年3月3日 生活安全局生活安全課刑事局捜査第一課発表
令和3年におけるストーカー事案及び配偶者からの暴力事案等への対応状況について より作成

私事性的画像に係る事案 被害者の年齢 2021年

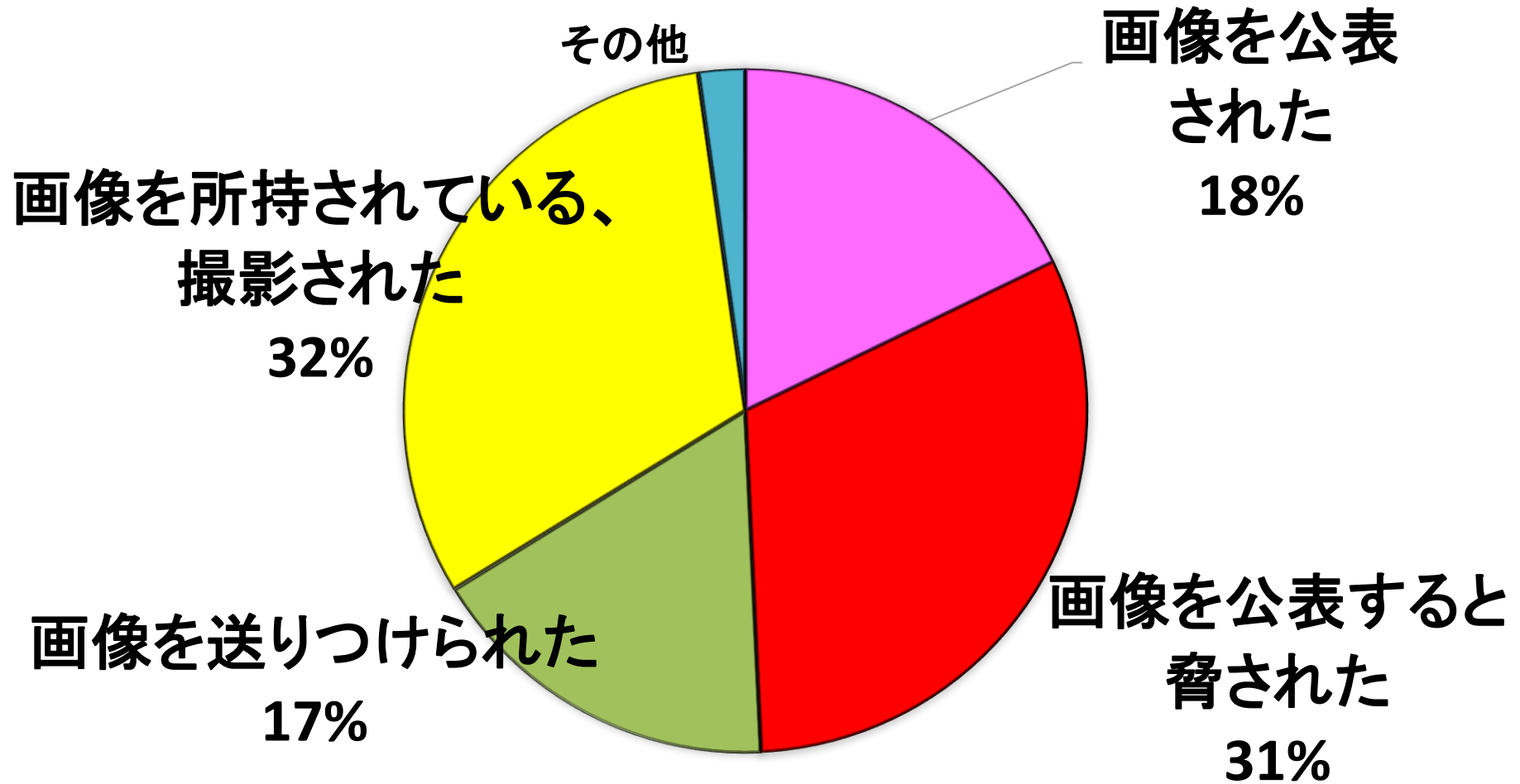


私事性的画像に係る事案：

加害者と被害者の関係 2021年

加害者	件(%)
配偶者(元含む)	60(3.7)
交際相手(元含む)	821(50.4)
知人友人(ネット関係のみ)	326(20.0)
知人友人(それ以外)	226(13.9)
職場関係	31(1.9)
関係(行為者)不明	101(6.2)
その他	63(3.9)

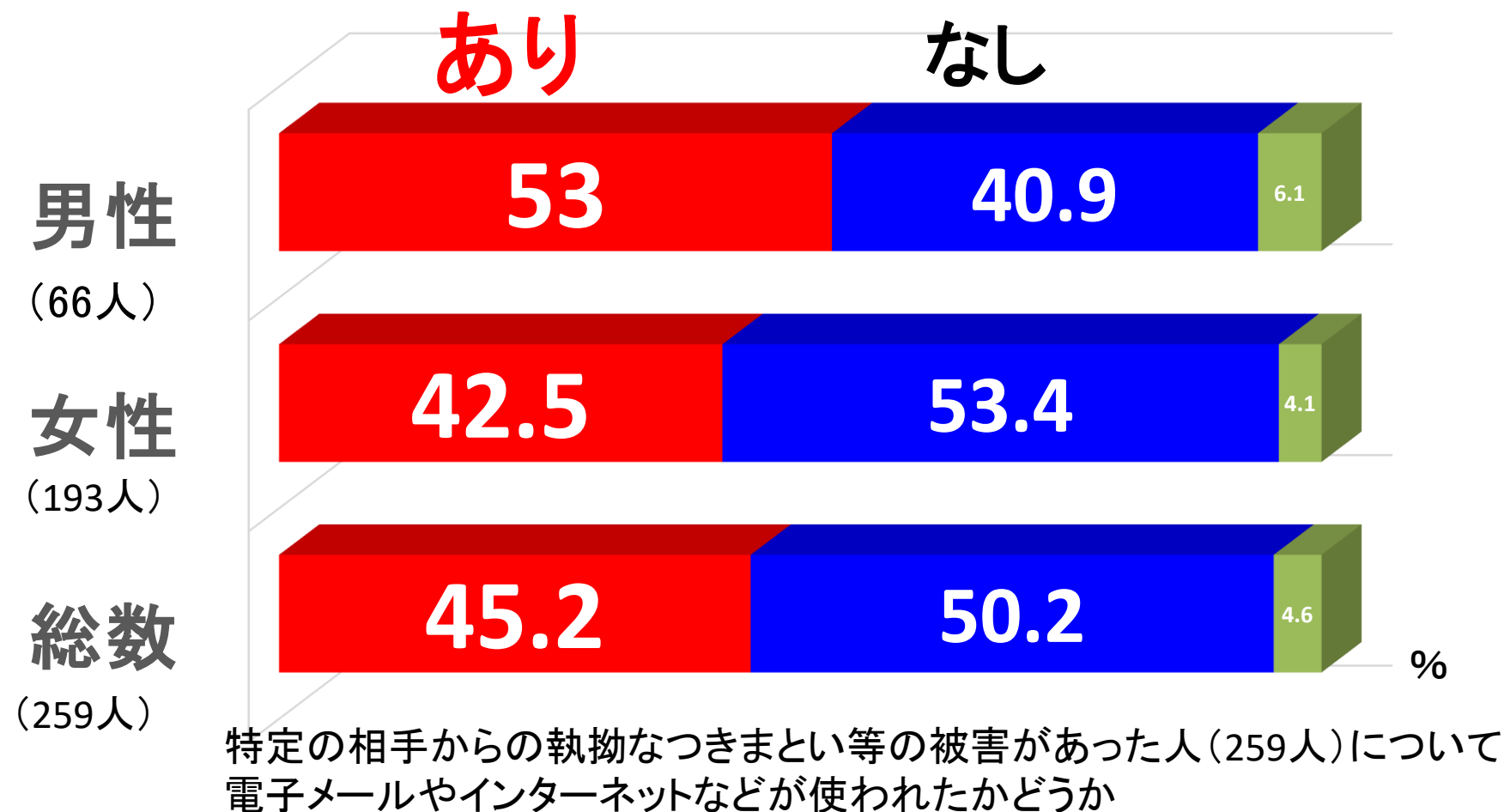
私事性的画像に係る事案の 相談等内容 2021年



注1) 複数に該当する場合は、それぞれに計上

注2) 「その他」は、画像の送信要求 等 N:1845

特定の相手からの執拗なつきまとい等の被害 電子メール・インターネット被害経験



男女間における暴力に関する調査報告書:内閣府男女共同参画局 令和3年3月より

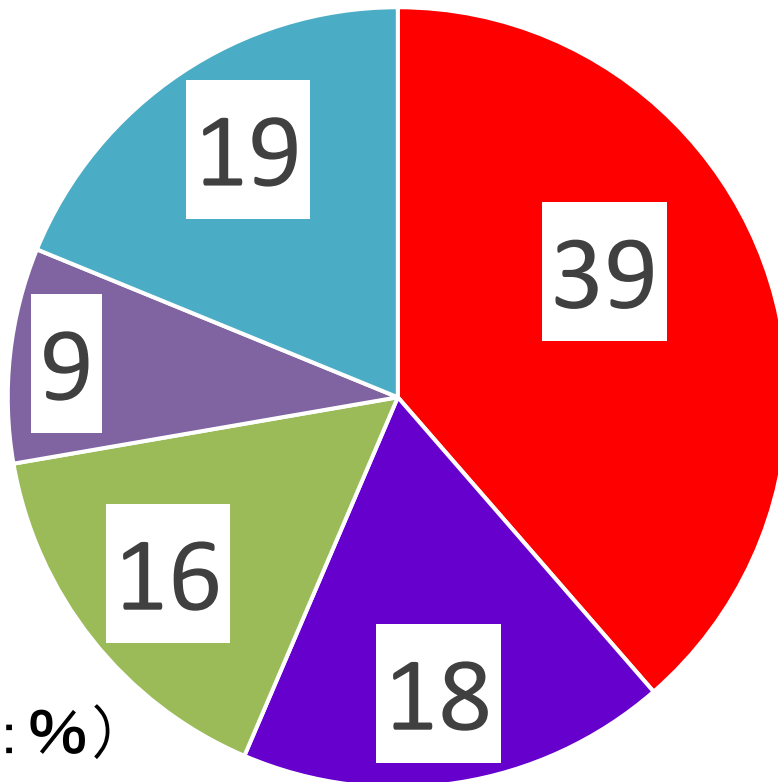
調査対象:全国20歳以上の男女 標本数:5,000人 抽出法:無作為抽出 調査時期:令和2年(2020年)11月~12月

郵送留置訪問回収法 有効回収数:3,438人(68.8%)女性1,803人 男性1,562人

「自画撮り被害」

「自画撮り被害」は、だまされたり、脅かされたりして児童が自分の裸体を撮影させられた上、メール等で送られる形態の被害をいう。

児童ポルノ事件： 被害児童の被害態様別割合 2020

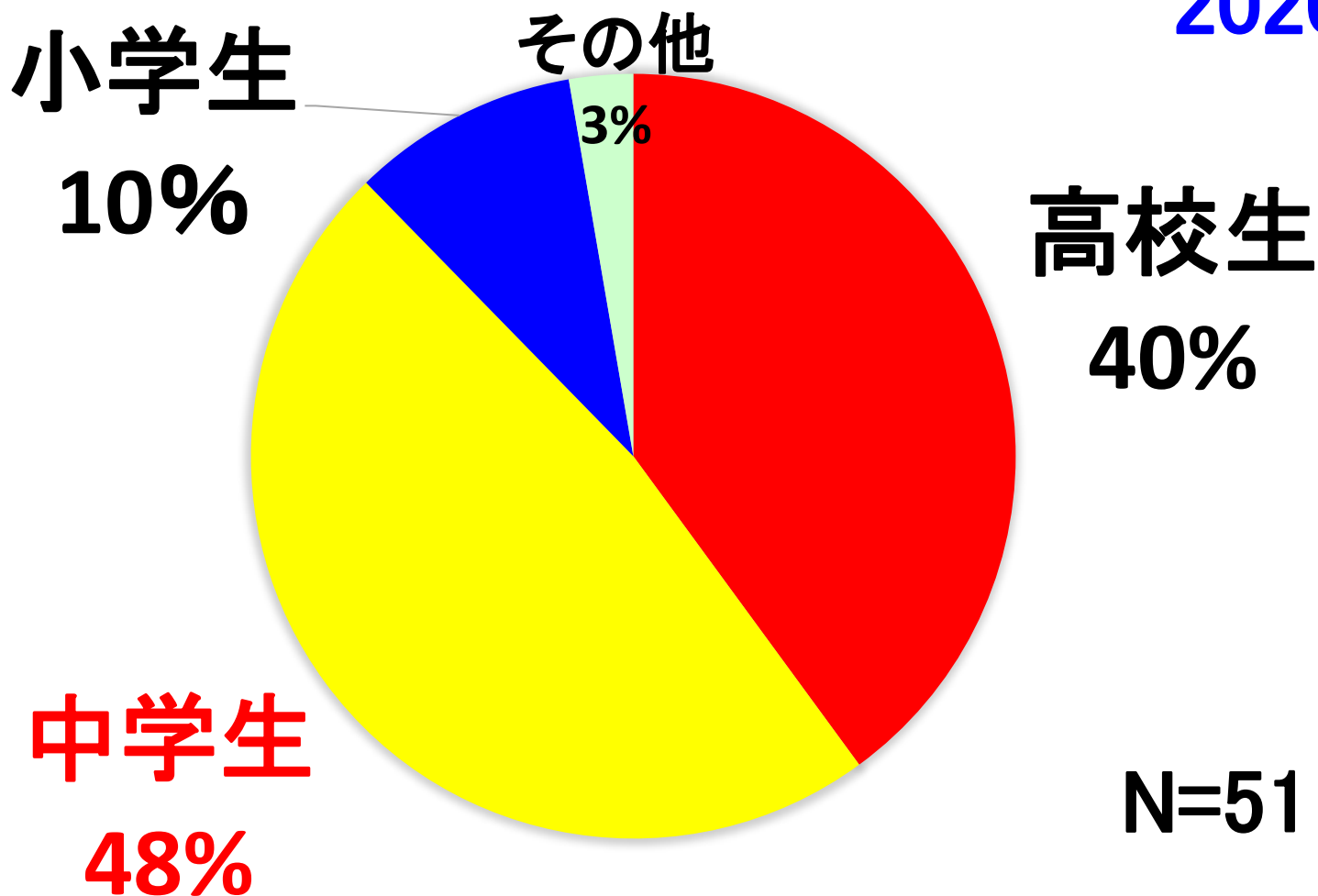


(単位：%)

N=1,320人

- 自画撮り被害
- 児童買春・淫行行為
- 盗撮
- 強姦・強制わいせつ等
- その他

自画撮り被害に遭った児童の学識別割合 2020年



なぜ、子どもが「出会い系」に

- 「出会い系」は、多くの人とつながる便利な道具
- いろんな人たちと、「つながりたい」願望、好奇心
- 自分を認めてほしい、淋しさの解消
- 面識がないから、安心して「悩み相談窓口」に
- 大人とつながっていることが、カッコイイ
- 生まれたときからデジタル(スマートフォン)時代

犯罪に巻き込まれる可能性や
その結果の大きさが判らない

セクシュアリティへの影響

サイバー空間性暴力

パソコン、スマートフォン
ゲームなどの
サイバー空間の中で、
人間の「性」が商品化
性的快楽性を満たす
対象物として
性的虐待・暴力映像が
日々、無防備なまま侵入



- ・対象が人間でない
- ・幼い子どもを性的対象と認識
- ・従属的女性像の形成
- ・暴力的セックスの肯定
- ・人権侵害への鈍感さ
- ・大人への不信感、恐怖
- ・性的なもの、すべてへの嫌悪感・憎悪感の形成

性的関心・衝動

サイバー空間性暴力とセクシュアリティへの影響

暴力的・支配的性描写の日常化

漫画・コミック・インターネット
男性週刊誌/新聞・TVなど



ジェンダーに
基づく性差別

**性暴力
蔓延社会**

性暴力を
容認する文化

女性の性「商品化」

商品の宣伝に
女性の性を利用

人間の性を売買

「人間性の非人間化」

ジェンダーと性暴力

- 社会的につくりあげられた**性役割・ジェンダーの影響**を受けている。
- マスメディア、マンガ、テレビ、インターネットに氾濫する、**女性の従属的、男性の支配的イメージ**映像に日々、さらされている。
- 女性はこうあるべき、男性はこうあるべきという**偏狭な価値観**により、暴力による支配関係を正当化、容認してしまう。
- 「性暴力」: 望まない性的関係、避妊のないSEXを「交際している男女の関係」では、拒否するものではないと思い込んでしまう。
- **性暴力の存在に気づかない、気づけない。**

子どもの好奇心を刺激する
性情報・画像の氾濫
性犯罪の罣が、社会の
いたるところに溢れている

何も知らない

誰も知らない



自分を守る
すべがない

性被害の発生



サイバー空間 性暴力蔓延「公害」

すべての子どもが、いつ、被害者にも
加害者にもなっても、おかしくない状況

性犯罪に巻き込まれない「性教育」 はいつ、誰が、どのように？

「性暴力」が、子どもに容赦なく襲う、
愛することの意味・大切さを経験しないで、
暴力的性描写を見る、知る、聞く、学ぶ。

自分と相手の「性」を大切にすること、
被害に合わない、加害しないこと、
いつ、誰が、どのように教えられるのか。

「子どもに、性暴力問題を、教えられる？」

何がおきているのか
何がおきるのか
何をすればいいのか

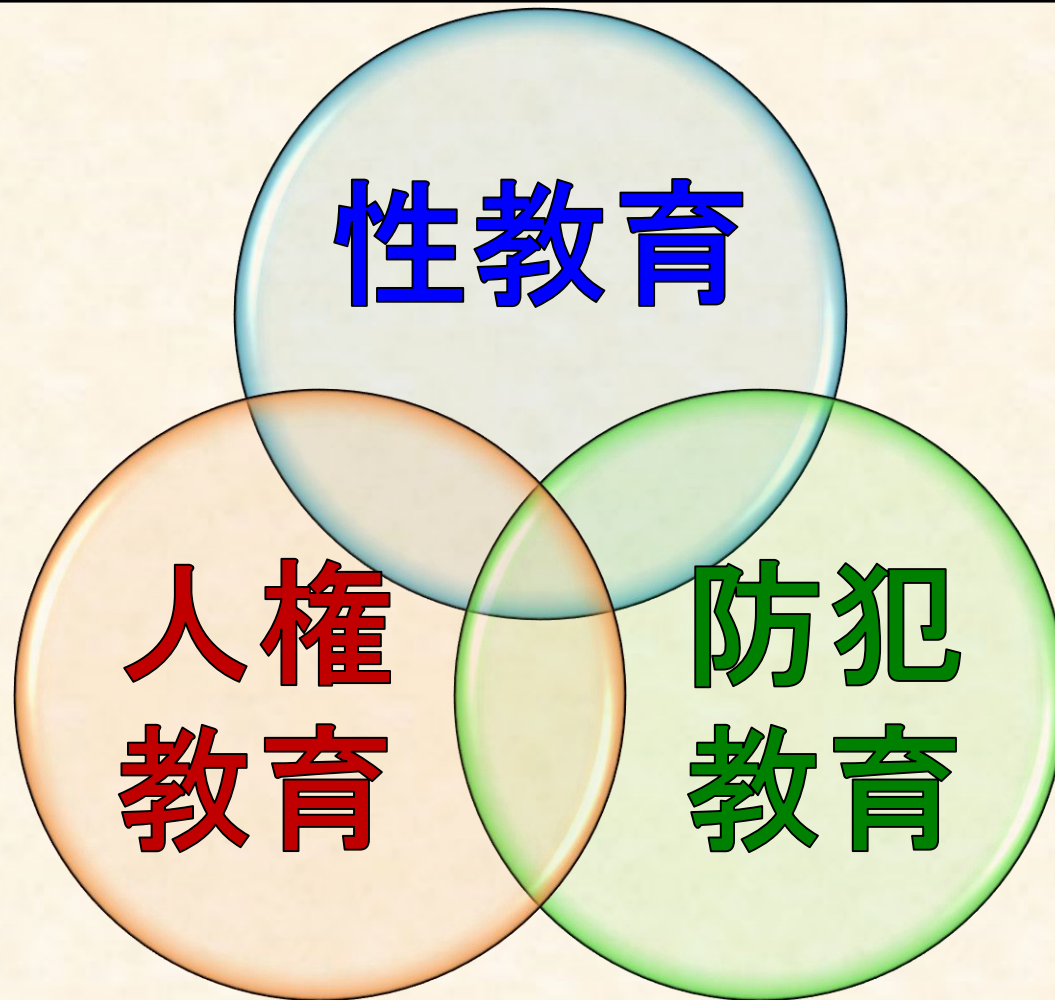
無垢な
子ども時代を奪う

大人の性的嗜好
/指向
ポルノ氾濫
性暴力の実態

恐怖



性暴力をしない・させない3つの教育



性教育に含まれる基本的内容

- ◆人間の誕生から死まで：人間の心身の変化
- ◆性感染症：具体的な症状と予防対策
- ◆避妊法：**No Condom, No Sex**
- ◆人工妊娠中絶：
心身への影響と実施可能な時期・期限、費用
母体保護法により、**22週未満(21週6日)まで、**
それ以降の中絶は違法、**堕胎罪**に問われる。
- ◆**緊急避妊方法**

緊急避妊薬：ノルレボ錠

- ◆妊娠を回避するために、**性交後72時間(3日)以内**に服用。
- ◆**性的暴行(性交)被害**を受けた際の**緊急避妊方法**。
- ◆医療機関での**医師の処方箋**が必要。
- ◆2011年、厚生労働省が国内で初めて緊急避妊薬として認可。



Child sexual abuse accommodation syndrome (CSAAS)

性虐待を受けた子どもに見られる順応症状

1. Secrecy

怖いから
誰にも言わない

2. Helplessness

誰も助けてくれない
どうしようもない

3. Entrapment and Accommodation

じっとして
我慢してよう、
そのほうがいい



4. Delayed, Conflicted, and Unconvincing Disclosure

うまく伝えられない

5. Retraction

無かったことにしよう

Reprinted with permission:
Summit, R. C. (1983). The child sexual abuse accommodation syndrome. Child Abuse and Neglect, 7, 177-193.
The Child Sexual Abuse Accommodation Syndrome
Roland C. Summit, M.D.
Head Physician, Community Consultation Service, Clinical Assistant
Professor of Psychiatry, Harbor-UCLA Medical Center, Torrance, CA 90509
上記論文より李訳

女子中学生を脅して、**2年半にわたり何度も裸の画像や動画を送らせた**疑いで、会社員の男が逮捕された。2018年11月、SNSで知り合った福岡市内の当時中学2年の女子生徒を脅し、約2年半の間、何度も裸の画像や動画を撮影させ送らせた。**応じなければ裸の画像を「ネットに流す」などと脅迫し、**女子生徒は「**最初は優しく相談などにのってもらっていたが、態度が急変して指示に従う他なかった**」と話す。

2021年7/19(月) 19:54配信 テレビ西日本より抜粋

<https://news.yahoo.co.jp/articles/14dbffd9b6e4a15c8a2a0a8cc961be37e9a900a4>

2021年7月20日アクセス

もし、暴力に出会ったら

「いやだ！」

逃げる・離れる

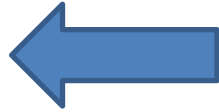
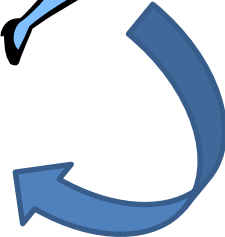
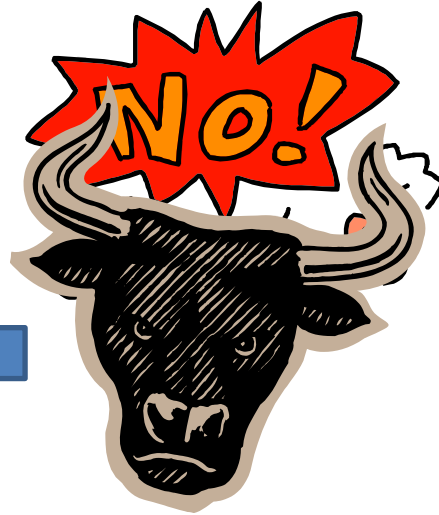
話す・相談する

暴力

NO!

STOP

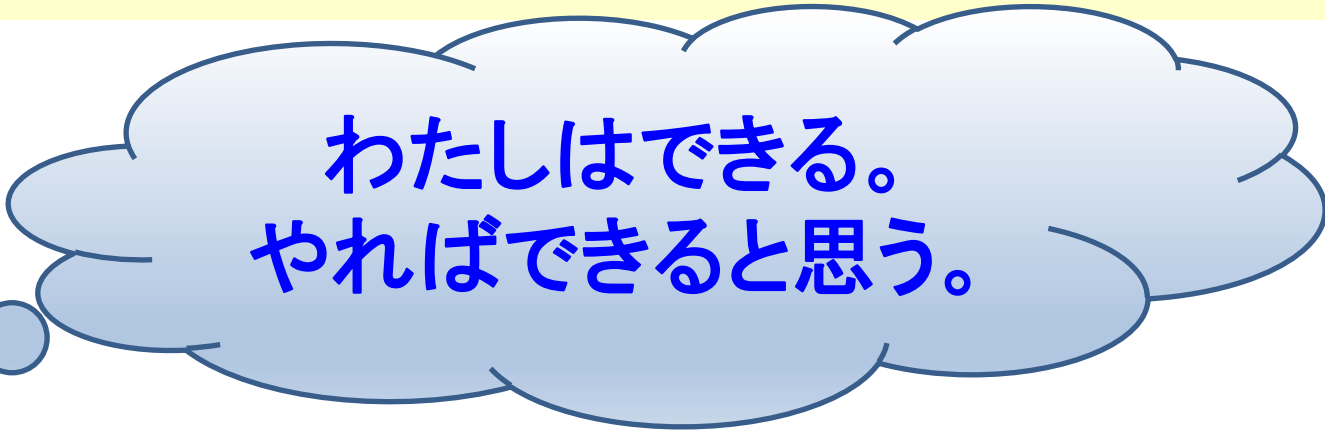
ゆるさない
明るみにする
罰する



自己効力感 (Self-efficacy)

What Is Self-Efficacy?

According to Albert Bandura, self-efficacy is “the belief in one’s capabilities to organize and execute the courses of action required to manage prospective situations.” In other words, self-efficacy is **a person’s belief in his or her ability to succeed in a particular situation.**

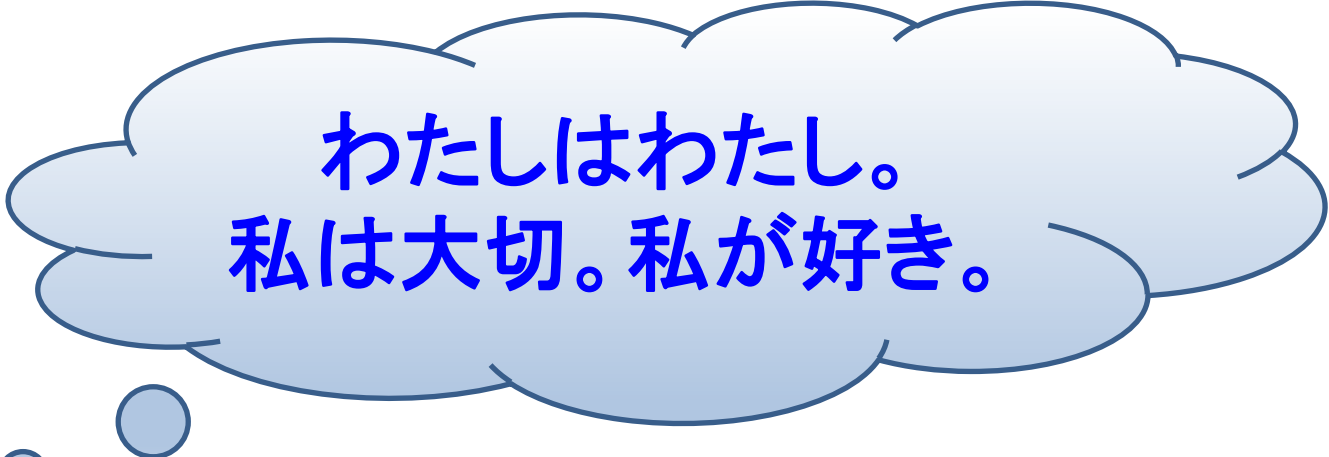


わたしはできる。
やればできると思う。

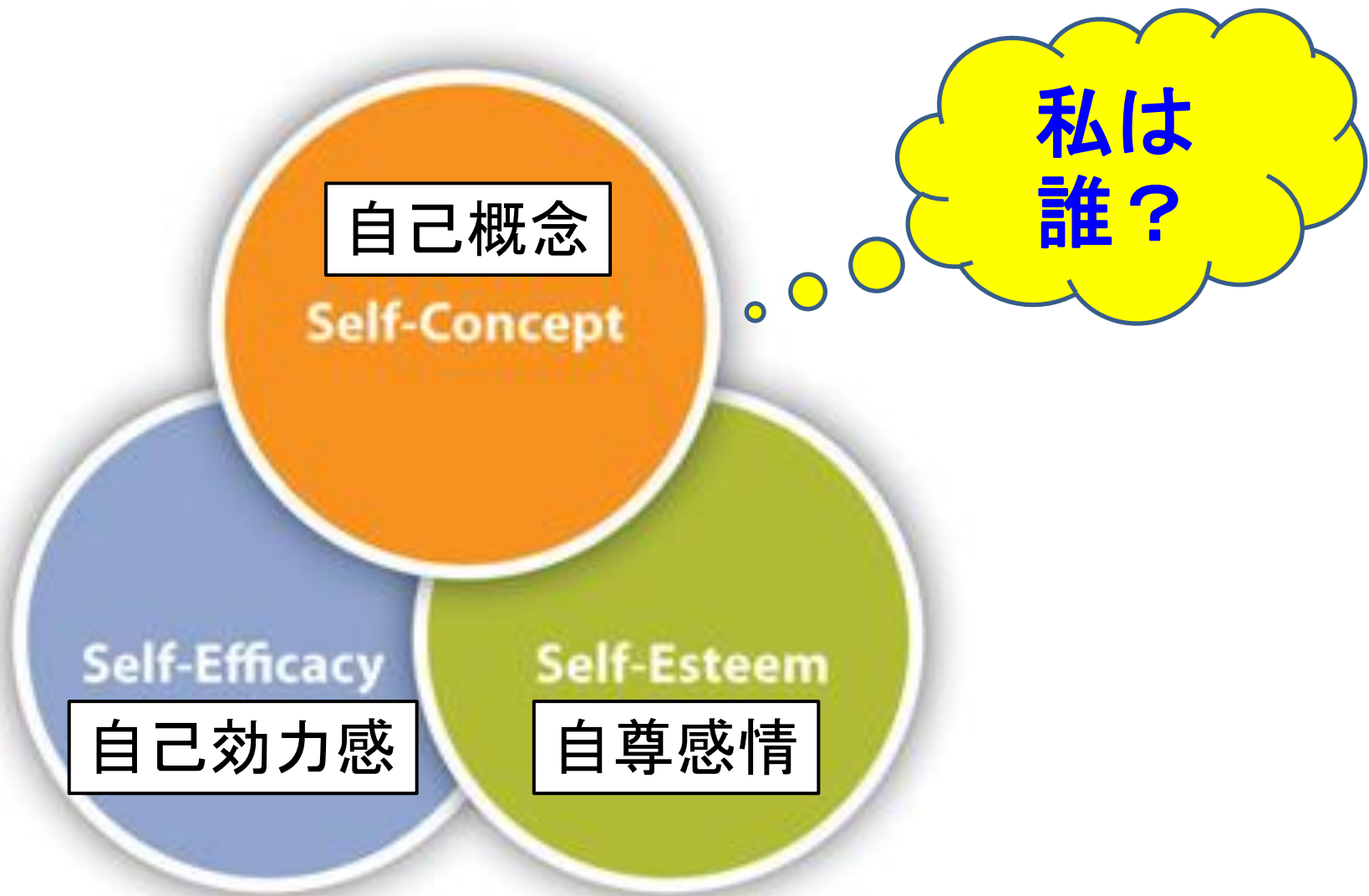
自尊感情 (Self-esteem)

What Is Self-Esteem?

In psychology, the term self-esteem is used to describe a person's overall sense of self-worth or personal value. In other words, **how much you appreciate and like yourself.**



わたしはわたし。
私は大切。私が好き。



“Relationship between Self-Efficacy, Self-Esteem, and Self-Concept,” judgments about our self-efficacy influence our self-esteem, which influences our self-concept.

PTSD (Post Traumatic Stress Disorder : 心的外傷後ストレス障害)

PTSDは、とても怖い思いをした記憶が
こころの傷(トラウマ)となり、そのことが何度も
思い出されて、恐怖を感じ続ける病気です。

命の危険を感じたり、自分ではどうしようもない
圧倒的な強い力に支配されたりといった、
強い恐怖感を伴う経験をした人に起きやすい症
状です。

http://www.mhlw.go.jp/kokoro/know/disease_ptsd.html

厚生労働省 知ることからはじめよう みんなのメンタルヘルスより

解離性障害とは

- 解離性障害は、自分が自分であるという感覚が失われている状態。
- 私たちの記憶や意識、知覚やアイデンティティ(自我同一性)は本来1つにまとまっています。解離とは、これらの感覚をまとめる能力が一時的に失われた状態です。
- たとえば、過去の記憶の一部が抜け落ちたり、知覚の一部を感じなくなったり、感情が麻痺するといったことが起こります。

http://www.mhlw.go.jp/kokoro/know/disease_dissociation.html

厚生労働省 知ることからはじめよう みんなのメンタルヘルスより

「当事者の解離症状」と 「他者からの誤解」

- まるで、よそごとのような
- 嘘をついてるような
- 忘れていて、覚えていない
- つじつまがあわない
- 平気なような
- よく喋って、、、元気そうな



他者による誤解・偏見

二次被害とは

- ◆ 犯人・加害者からではなく、被害者が被害の後に、**周囲のさまざまな人の言動によって、さらに傷つけられる状態**をさす。
- ◆ 傷つける行為を**二次加害**という。
- ◆ まわりの対応によって、被害者の心の傷をさらに大きく、深くする。
- ◆ また傷つけられる恐怖から、被害を訴えたり、助けを求める気持ちがなくなってしまう。



代理受傷(二次受傷)と二次加害

「代理受傷」

とは、「二次受傷」「共感性疲弊」とも呼ばれている現象。支援者らに被害者と同様の症状が起きる

支援者

無意識の感情

二次加害

当事者

二次被害





Primariy prevention

一時次予防 (発生予防)

未然に防ぐ対策
法制度・社会環境整備
性教育・人権教育・
安全教育



Secondary prevention

二次予防 (重症化予防)

被害の早期発見・介入
被害を最小限に留める
二次被害対策



Tertinary prevention

三次予防 (再発予防)

リハビリ・長期支援
社会復帰

被害はまだ生じていない状態

被害の発生

性暴力を防ぐ介入・予防

暴力は強者から弱者へ向かいやすく、
その暴力は歯止めをかけなければ
どんどん酷くなり、
閉ざされた密室性の中では
さらに残虐性が増すという特性・事実
があります。



TRANSFORM SOCIAL NORMS

女性への暴力を黙認し、助長する
社会規範・生活環境を変える！

UN Women is the UN organization dedicated to gender equality and the empowerment of women. A global champion for women and girls, UN Women was established to accelerate progress on meeting their needs worldwide.

<http://www.unwomen.org/-/media/headquarters/attachments/sections/library/publications/2017/safe-cities-and-safe-public-spaces-global-results-report-en.pdf?la=en&vs=45>

2018年2月5日アクセス

パープルリボン・プロジェクト

国際的な女性に対する暴力根絶運動

＜パープルリボンの基本理念＞

- 暴力は「学習された行動サイクル」です。
- 社会的にも個人的にも、暴力は我慢することで広がります。
- **すべての人々が暴力を許さなくなれば、暴力を減らすことができる**でしょう。
- パープルリボンプロジェクトは物や力ではなく、人々のエンパワーメントと安全を目指すものです。

パープルリボンは1994年2月、アメリカ合衆国ニューハンプシャー州で、レイプや虐待のサバイバー、医療専門家、セラピスト、法律関係者、関心を持つ市民らによって結成された、インターナショナル・パープルリボン・プロジェクト (IPRP) から始まった。

<http://nwsnet.or.jp/purpleribbon/> より抜粋 アクセス2017年10月27日



ジェンダー

- ジェンダー平等は人権の達成の上で根本的なものであり、社会的及び経済的に不可欠。
- 質の高い教育への平等なアクセスは、女兒と女性のエンパワメント等の達成のために不可欠。
- 特に紛争影響下及び脆弱な国家における、女兒・思春期の少女・女性の質の高い教育への少なくとも12年間の安全で質の高い教育の機会を改善することのコミット。
- 全ての形態の暴力を撲滅することを決意。オフラインで個人が有する人権がオンラインでも保護されるよう努力する。

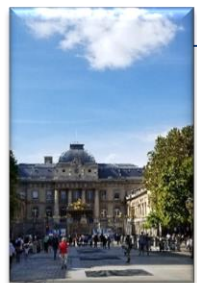
コミュニケ: 公式の声明。外交会議などの際に公式会議の経過や関係国の意思を表した声明書。



「サイバー空間性暴力」対策



地域の社会資源・ソーシャル
キャピタルを活かし、育む



人々が行き交う場所
ハード面での防犯体制を構築



教育機関・教育委員会が、
すべての教職員・児童・生徒へ
の啓発・教育活動を実施



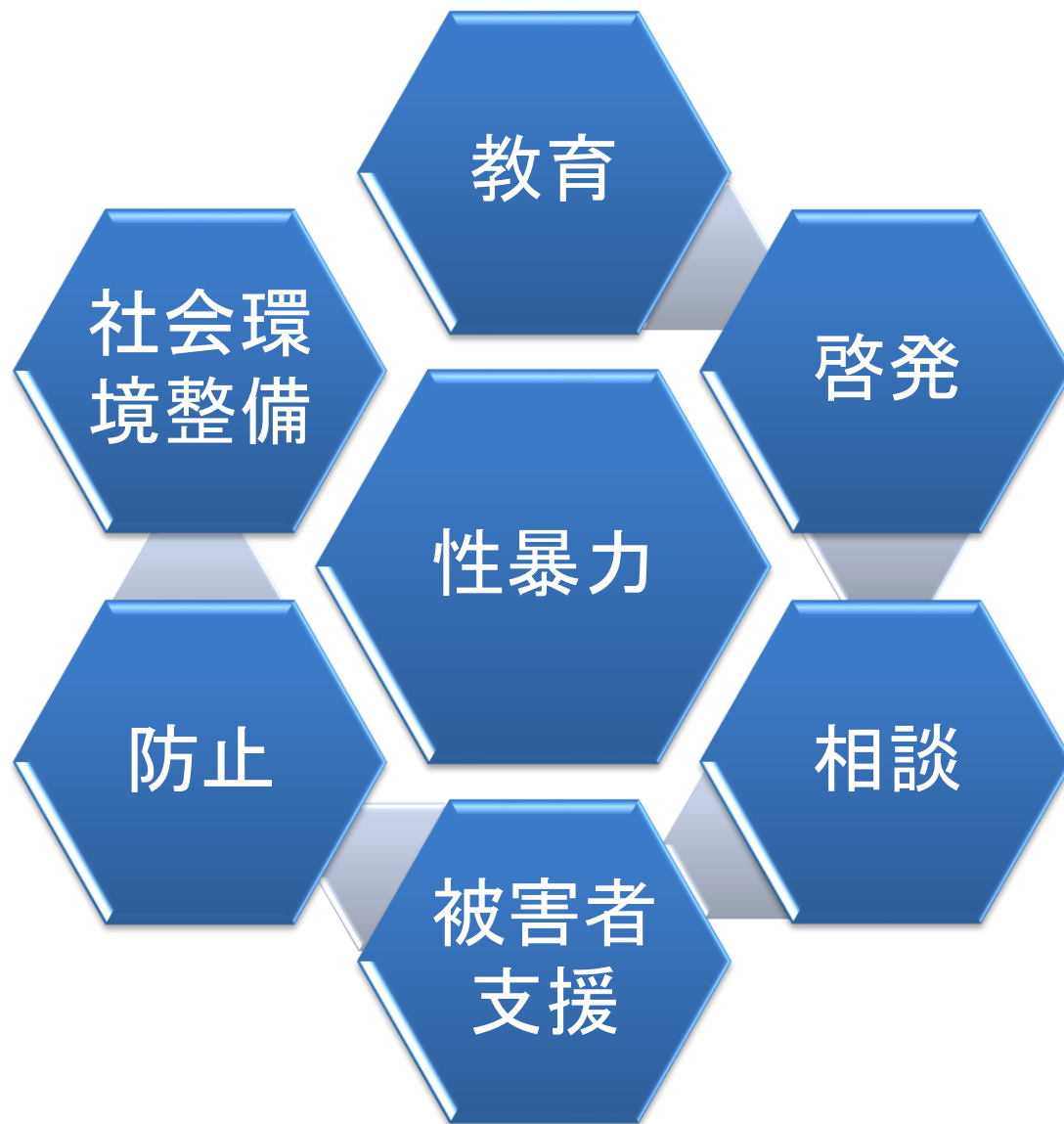
すべての行政機関・公務員が行
動計画を立案、実行



議員・議会による性暴力防止の
ための政策実現

安全・安心な「公的空間」創造のためのアプローチ

包括的性暴力禁止条例



「性犯罪・性暴力対策の強化」に関する 内閣府特命担当大臣（男女共同参画）のメッセージ

「方針」には、刑事法の検討はもとより、**被害者に寄り添った細やかな支援の一層の充実、加害者対策、生命の尊さを学び、性暴力の加害者や被害者や傍観者にならないための教育・啓発の強化**など、具体的な取組を盛り込んでいます。関係機関が連携して、速やかに、集中的に実行していきます。

「性暴力をなくす」、「二次被害を生まない」、「被害者をしっかりと支援する」。このことを、現場まで浸透するよう、取り組めます。また、**「性暴力はあってはならない」という認識を社会全体に**広げていくことが、何よりも重要です。

令和2年6月11日
内閣府特命担当大臣（男女共同参画）
橋本 聖子

ご清聴ありがとうございました。



Watch and listen to the sky. It speaks.